

2020

第十八回将棋大会開かれる！ 指導棋士は屋敷伸之プロ九段



優勝は植村さん

大会は計三十二名の棋士で戦われ、優勝は植村琢也さん(一般)、準優勝に光富正徳さん(臨港バス労組)、二位に高橋誠さん(一般)と福岡寿朗さん(全自交)が入りました。

審判長・指導棋士は「屋敷伸之」プロ九段。屋敷伸之さんは大会終了後の好評で「今回参加者の将棋もかなりレベルの高い将棋で素晴らしかった。確実に全体のレベルは上がってきている。是非続けてほしい。」と好評しました。

交流・和気あいあいの中の将棋大会。今大会は四〇名、女性参加もあり、確実に将棋愛好家の裾野は広がってきています。

底冷えした二月九日(日)、横浜市内において「2020年第十八回新春将棋大会」が社民党を支持する横浜連絡会議(代表 長瀬嘉宏)の主催で開かれました。主催者を代表してあいさつした高橋廣康事務局長は「将棋大会は今年で十八周年、いま職場は春闘が闘われている。皆さんの一年間の練習の成果・実力を発揮してほしい」と述べました。

来賓として「森ひでお」社民党横浜市連合副代表は、「いま社民党はカシノ誘致反対のための住民投票・リコール署名運動を展開している。是非、協力してほしい。国会では桜を見る会、『改憲』『働かせられ改悪』など政治は益々混とんとした状態が続いているが、そんなことも片隅におきながら、今日は一日将棋を楽しんでほしい。私も棋士として参加する」とあいさつしました。



左から屋敷伸之九段、森ひでお社民党横浜市連合副代表、顧問の小河哲美氏。

新春将棋大会



熱い闘いの 激戦が繰り広げられる



参加棋士の皆さん



優勝・準優勝・三位の方には福島みずほ・屋敷伸之九段の直筆のサイン入りの表彰状と記念品が渡されました。

